

ジンバブエ共和国月報（2024年6月）

主な出来事

【内政・外交】

- ムナンガグワ大統領、ユン韓国大統領と会談
- ムナンガグワ大統領、韓国・アフリカサミットに出席
- ムナンガグワ大統領、韓国で農業・鉱業に関するビジネス会議出席
- Zanu-PF、再び人権侵害で警告
- ムナンガグワ大統領、プーチン大統領と会談
- チウエンガ副大統領、ラフモン・タジキスタン大統領と会談
- 警察、無許可の集会で野党 CCC メンバーを逮捕
- ムナンガグワ大統領、南アフリカ大統領就任式に出席
- Zanu-PF、中国共産党代表団と意見交換
- SADC 産業週間に 150 社が参加予定

【経済・経済協力】

- 政府が金生産量の減少に関する調査を検討
- 市場に流通する新通貨 ZiG は 30%のみ
- ジンバブエ、韓国と貿易・投資促進に関する MoU 締結
- ジンバブエ、K-ライスベルト・イニシアチブに関する MoU 締結
- ジンバブエ中央銀行、ZiG 現金不足解消のためホームリンクと提携
- 大規模鉱山会社の 2026 年までの自社発電施設設置を義務化
- 第 1 四半期に 20 万人の新規雇用を創出
- ジンバブエはアフリカで最も物価の高い経済
- ジンバブエの製造業が GDP 減少に寄与
- アフリカ輸出入銀行と CBZ 銀行が 8,000 万米ドルのファシリティに署名
- 第 10 回 CEO アフリカ年次円卓会議がビクトリアフォールズで開催
- ディンソン鉄鋼会社が稼働開始
- 政府、金の納入に対する付加価値税を廃止
- ワンゲ発電所が主力発電所に
- ZiG が国際通貨コード ZWG を取得
- ジンバブエ中央銀行、経済安定維持のため金利を維持
- IMF4 条協議の第 2 回ミッション終了

【内政・外交】

・ムナンガグワ大統領、ユン韓国大統領と会談

3日、ムナンガグワ大統領は韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領とソウルの大統領府において会談した。会談後、チャランバ大統領・内閣官房副長官は報道陣に対し、農業、鉱業、インフラ開発、科学技術等、両国の経済発展に関する課題について話し合われたと述べた。農業における灌漑や品種改良の経験、食品加工やリチウム電池製造等の韓国企業のジンバブエへの投資、韓国が採用しているスマートシティやスマートビレッジの開発モデル、高速鉄道システムを含む鉄道網など輸送インフラ整備での協力、科学技術や人材開発、南部アフリカにおける干ばつによる食料危機への支援等に関して話し合われた。また、両首脳は二国間の合同常設委員会を再開することでも一致した。なお、首脳会談の合間に、シャワ外務大臣が韓国のチョ外務大臣と二国間航空サービスに関する協定書に署名した。（4日付、ヘラルド紙）

・ムナンガグワ大統領、韓国・アフリカサミットに出席

ムナンガグワ大統領は4日、韓国・アフリカサミットに出席した。開会式での演説で、アフリカには豊富な天然資源、豊富な耕作地、若い人口、そして新しいグリーンエネルギーソリューションに必要な資源と気候などがあり、農業や戦略的鉱物の付加価値、世界的な観光名所を複数もつ観光業、インフラ開発の分野において韓国からのパートナーシップと投資を期待すると述べた。また、ジンバブエは「残念なことに、過去23年間、一部の西側諸国によって課された不当で違法な制裁によって悪影響を受け続けている。これらの制裁は、まさにこのサミットのテーマの精神に反するものだ」とし、その中でも持続可能な社会経済発展に向けて国の近代化と工業化を進めていると述べた。（4日付、ヘラルド紙）

・ムナンガグワ大統領、韓国で農業・鉱業に関するビジネス会議出席

ムナンガグワ大統領は、韓国・アフリカサミットの一環として行われた「アフリカの食糧と鉱物の安全保障強化」と「農業生産性と地域開発」をテーマにした会議に出席した。ジンバブエは持続可能な採掘慣行、先進技術の活用、効果的な規制枠組みを通じて鉱物資源の潜在能力を最大限に引き出すことで、鉱物の安全保障の達成に取り組んでいると話し、ジンバブエおよびアフリカ大陸の他の地域で選鉱工場や技術移転イニシアチブを設立するための韓国企業との提携を歓迎すると述べた。（6日付、ヘラルド紙）

・Zanu-PF、再び人権侵害で警告

与党 Zanu-PF は人権侵害の疑いで告発されており、人権監視団体ジンバブエ平和プロジェクト（ZPP）の最新の報告書では、10件の違反のうち約7件に与党が関与していると指摘されている。4月には少なくとも145件の人権侵害が記録され、その69.41%が与党活動家による主犯とされている。その内容は、嫌がらせや脅迫、平等や差別禁止に対する違反、拉

致、恣意的な立ち退き、裁判外の殺害、不法拘禁、窃盗、暴行など。犯人のうち 7.94%はジンバブエ共和国警察 (ZRP) の職員で、国防軍と市役所職員はそれぞれ 5.29%と 2.94%を占めた。野党「変革のための市民連合 (CCC)」は、政治的動機による暴力で 1.47%と報告されている。ZPP は報告書で、ZRP とジンバブエ人権委員会 (ZHRC) に対し、犯人の捜査と起訴を求めた。(7 日付、ニュースデイ紙)

- ・ムナンガグワ大統領、プーチン大統領と会談

6 日、ムナンガグワ大統領は第 27 回サンクトペテルブルク国際経済フォーラム (SPIEF) への出席のためにサンクトペテルブルクに到着し、プーチン大統領とバイ会談を行った。バイ会談後、関係者も加わり審議が行われた。ムナンガグワ大統領は公式 X に、「ロシアのプーチン大統領と生産的な議論を交わす機会に恵まれた。我々の会話は、ジンバブエとロシアの経済・外交関係を強化し、相互の成長と協力の機会を探ることに焦点が当てられた」と投稿した。(7 日付、ヘラルド紙)

- ・チウエンガ副大統領、ラフモン・タジキスタン大統領と会談

チウエンガ副大統領は 10 日、タジキスタンのラフモン大統領と会談した。この会合は、副大統領が国連加盟国の政府代表とともに出席した「第 3 回ドゥシャンベ水の行動の 10 年会議」の傍らで行われた。会談は、両国の利益となる可能性のあるほぼすべての経済協力分野に焦点が当てられた。両国は 2017 年に経済協力強化のための基盤を築くために互いに連絡を取り始めた。(11 日付、ヘラルド紙)

- ・警察、無許可の集会で野党 CCC メンバーを逮捕

昨日、ハラレにある元野党 CCC 議員ティンバ氏の自宅で無許可の集会を開いたとして、少なくとも 70 人の CCC メンバーが逮捕された。ティンバ氏は CCC のチャミサ元党首と連携する派閥を率いている。CCC は現在 2 つに分裂しており、主要派閥は党の暫定事務局長であるチャバング上院議員と連携している。(17 日付、ヘラルド紙)

- ・ムナンガグワ大統領、南アフリカ大統領就任式に出席

ムナンガグワ大統領は昨日、アフリカ民族会議 (ANC) の指導者ラマポーザ大統領就任式に出席した。ムナンガグワ大統領は、ラマポーザ大統領の再選はジンバブエと南アフリカ両国の永続的な絆と共通の願望を強調するものであり、繁栄するアフリカの実現に向けて二国間および多国間で協力を続けていくと述べた。(19 日付、ヘラルド紙)

- ・Zanu-PF、中国共産党代表団と意見交換

18 日、中国共産党 (CPC) 代表団が、与党 Zanu-PF のムポフ事務局長と非公開で会談した。CPC 中央委員会メンバーで、CPC 山西省委員会のタン・デンジェ書記は、代表団を率いて Zanu-

PF のリーダーと意見交換を行った。タン書記はその後、ハラレのハーバート・チテポ・イデオロギー学校でプレゼンテーションを行い、両国の発展と関係改善に向けて取り組む必要性について語った。同氏は、ジンバブエと中国は手を携えて両国の領土保全の防衛に取り組むと述べた。なお、チテポ・イデオロギー学校は、Zanu-PF の初代議長を務めた故ハーバート・ウィルシャー・チテポの名を冠した党の思想学校であり、新校舎の建築が先月完了した。Zanu-PF のマチャチャ国家政治委員は、同校は党幹部や党員に党の価値観や精神を理解するための政治意識を与えていると述べた。(19 日付、ヘラルド紙)

- ・ SADC 産業週間に 150 社が参加予定

SADC 首脳会合 (SADC Summit) に先立ち、7 月 28 日から 8 月 2 日までハラレで開催される第 7 回 SADC 産業週間 (SADC Industrialisation Week) には、SADC 地域から合計 150 社の企業が参加する予定。農産物加工、鉱物資源、製薬、金融、消費財・資本財、女性・若者、中小零細企業、インフラ部門の民間企業が含まれる。産業週間は産業通商省が主催、SADC 事務局、SADC ビジネス評議会、ジンバブエ産業連盟が協力し、「SADC 産業化に向けた持続可能な経済成長と発展の機会を解き放つためのイノベーションの促進」というテーマで開催される。(21 日付、ヘラルド紙)

【経済・経済協力】

- ・ 政府が金生産量の減少に関する調査を検討

政府は、密輸再拡大の懸念がある中、金の出荷量の急激な減少の要因を突き止めるため、小規模金採掘部門の調査を検討している。これは、小規模鉱山による金の生産量が国内生産量の平均 60% から 42%~53% に減少したことによる。政府は今年、昨年達成した 30.1 トンをもとに、金の供給目標を 40 トンに設定している。(2 日付、サンデーメール紙)

- ・ 市場に流通する新通貨 ZiG は 30%のみ

新通貨「ZiG」の紙幣と硬貨が市場で極端に不足する「現金危機」のなか、ジンバブエ中央銀行 (RBZ) は 4,600 万 ZiG の紙幣と硬貨を銀行に支払っているにもかかわらず、銀行はそのうちの 30% しか市場に放出していないことが明らかになった。紙幣と硬貨は 4 月 30 日に流通を開始している。紙幣と硬貨の不足は、脱ドル化と現地通貨の使用を促進する政府の取り組みに逆行するとの懸念がある。ムシヤバヌ RBZ 総裁は、企業や個人に対し、取引の利便性のために銀行で硬貨を引き出すよう奨励した。(5 日付、ニュースデイ紙)

- ・ ジンバブエ、韓国と貿易・投資促進に関する MoU 締結

ジンバブエ商工会議所 (ZNCC) と韓国商工会議所 (KCCI) は 4 日、ジンバブエと韓国の企

業間の貿易、投資、経済関係の発展を促進することを目指す覚書（MoU）に署名した。これにより、両国間の既存の協定を遵守し、強力な制度、貿易、ビジネス関係を構築して、持続可能な対話のメカニズムを確立することに合意した。また、貿易、技術、産業協力を強化するために、各国の一般的な経済状況、課税、投資機会、貿易政策、法改正、およびそれらがビジネスに与える影響に関する情報を交換することにも合意した。（6日付、ヘラルド紙）

・ジンバブエ、K-ライスベルト・イニシアチブに関する MoU 締結

マスカ土地・農業・水・水産・農村開発大臣と韓国のソン農林食糧大臣は5日、ムナンガグワ大統領の立ち会いのもと、K-ライスベルト・イニシアチブに関する覚書（MoU）に署名した。このイニシアチブの主眼は、現在の年間2,000トンから2027年までにアフリカで最大1万トンの米を生産することである。（6日付、ヘラルド紙）

・ジンバブエ中央銀行、ZiG 現金不足解消のためホームリンクと提携

ジンバブエ中央銀行（RBZ）は傘下の金融機関ホームリンク（Homelink）と提携し、6月10日以降、国民がホームリンク支店で ZiG 紙幣と硬貨を引き出せるようにする。RBZ は経済全体で小銭の利用可能性を拡大しようとしており、すべての個人、通勤者、公共交通機関の運営者、小売業者、インフォーマル事業者、その他主要な利害関係者に、最寄りのホームリンク支店に行き、現地通貨のデビットカードまたはクレジットカードを使用して ZiG の現金を引き出すよう呼びかける。現行の銀行間為替レートで外貨現金を ZiG 現金に両替することもできる。（9日付、サンデーメール紙）

・大規模鉱山会社の2026年までの自社発電施設設置を義務化

モヨ・エネルギー電力開発大臣は、電力需要の増加を見越して、政府は電力消費量の多い一部の産業に独自の発電施設の設置を義務付ける政策を策定したと述べた。モヨ大臣は、政府は電力需要が3,200メガワット（MW）に急増すると予想しているが、これはすでに現時点での国の発電量を上回っていると語った。持続的な経済成長により、2年間で電力需要が3,000MWを超え、その余剰需要の大半を採掘と製錬が占めるとの予測を受け、大規模鉱山会社には2026年までに独自の発電所を建設する猶予が与えられた。数社のリチウム企業の設立、ムブマ近郊のマンハイズにおける15億ドル規模のディンソン鉄鋼会社（Dinson Iron and Steel Company, Disco（ディスコ））製鉄所の建設、そして電力を大量に消費するその他の新たな投資を受けて、ジンバブエはエネルギー生産をさらに増強する必要がある。（11日付、ヘラルド紙）

・第1四半期に20万人の新規雇用を創出

ジンバブエ国家統計局（ZimStat）が発表した最新データによると、就労者数（正規および非正規）は前四半期の317万人から329万人に増加した。これは、同時期に10万人の労

働者が職を失った後、経済が 20 万の雇用を創出したことを意味する。ジンバブエの経済は昨年 5.3 パーセント成長したと推定されているが、エルニーニョ現象の影響で、農業主導の経済成長は 2024 年には 3.2 パーセントに鈍化すると予想されている。しかし、就業人口比率 (EPR) はプラスに転じ、前四半期の 36.7% から 1.5% ポイント上昇して 38.2% となった。新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた経済的課題が始まって以来、初めて四半期比で雇用が増加したという重要な節目となる。(11 日付、ヘラルド紙)

- ・ジンバブエはアフリカで最も物価の高い経済

今週、アフリカ開発銀行 (AfDB) の最新の購買力調査により、ジンバブエはアフリカで最も物価の高い国と評価された。アフリカ諸国の購買力平価 (PPP) と為替レートの比率で表される物価水準指数 (PLI) に基づく。「アフリカ大陸で最も物価水準が高いのはジンバブエで、次いでカーボベルデ、ジブチ、セイシェル、南アフリカとなっている」とアフリカ開発銀行は調査結果の中で述べた。(14 日付、ニュースデイ紙)

- ・ジンバブエの製造業が GDP 減少に寄与

ジンバブエ産業連盟 (CZI) の最近の報告書によると、製造業の経済への貢献度は 1980 年以降、体系的に低下しており、通貨の変動や干ばつの壊滅的な影響により、2023 年までの間に最高値の 23% から 9% に下落している。CZI は報告書の中で、ジンバブエの製造業はビジネスコストの高騰や輸入原材料への過度な依存などにより、他の国々が成長している地域で下降スパイラルにあることを強調した。ジンバブエの輸出品は世界市場で競争力がなく、それが脆弱な製造業セクターに不利な要因となっていることも指摘している。報告書は、アフリカ大陸自由貿易圏 (AfCFTA) を積極的に活用することを提案し、「製造業の競争力とビジネスのしやすさを改善する必要がある」と述べている。(14 日付、インディペンデント紙)

- ・アフリカ輸出入銀行と CBZ 銀行が 8,000 万米ドルのファシリティに署名

大手多国間金融機関であるアフリカ輸出入銀行 (Afreximbank) は、ジンバブエ企業の貿易を促進するために 8,000 万米ドルのファシリティを提供することに CBZ 銀行と合意した。この取引は 12 日、Afreximbank の第 31 回年次総会と第 3 回アフリカ・カリブ海貿易投資フォーラムで調印された。CBZ は声明で、6,000 万米ドルがジンバブエのバリューチェーンの輸出業者や中小企業を支援し、在庫、サプライチェーン、輸出前後の事業活動の運転資金を提供すると述べた。追加の 2,000 万米ドルの Afreximbank 貿易円滑化プログラム・ファシリティ (AFTRAF) は、非金融融資枠であり、貿易をさらに円滑にするために保証書と信用状 (LC) を発行する。この貿易ファシリティは、中小企業を支援することにより、金融包摂とコミュニティ開発を促進することを目的としている。(14 日付、インディペンデント紙)

- ・第 10 回 CEO アフリカ年次円卓会議がビクトリアフォールズで開催

ムナンガグワ大統領は14日、ビクトリアフォールズのエレファントヒルズリゾートで第10回CEOアフリカ年次円卓会議（CEO Africa Roundtable Annual Conference）の開会を宣言した。「アフリカの未来：近代化、再構築、成長」をテーマにしたこのイベントでは、さまざまな分野のCEOや上級幹部が集まり、職場環境と倫理を改善するための戦略について話し合う。ムナンガグワ大統領は開会の辞で、包括的な成長の機会を捉え、誰も、どの場所も取り残されないようにすることの重要性を強調した。円卓会議は、アフリカ経済を近代化し、再構築し、成長させる方法について、リーダーたちが知識とアイデアを共有する場を提供する。議論される主なトピックには、インクルーシブAI（inclusive AI）の構築、アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）を通じた貿易の促進、オフグリッド型再生可能エネルギーを民間セクターにとって魅力的なものにする戦略などが含まれる。（14日付、ヘラルド紙）

・ディンソン鉄鋼会社が稼働開始

12日、ディンソン鉄鋼会社（Dinson Iron and Steel Company, Disco（ディスコ））の15億ドル規模の巨大なマンハイズ工場（ムブマ近郊）の高炉が銑鉄の生産を正常に開始した。この巨大な製鉄工場は、フル稼働すればアフリカ最大の総合製鉄所になると見込まれている。銑鉄は高炉で鉄鉱石を精錬して生産され、鉄鋼産業が鋼鉄生産に使用する中間製品である。

青山ホールディングス・グループ（Tsingshan Holdings Group Limited）の子会社であるディスコは、生産の第1フェーズで60万トンの製品を生産し、第2フェーズでは120万トン、第3フェーズでは320万トン、最終的に年間500万トンを生産すると見込まれている。暫定的な推定では、第1フェーズの年間純収益は1,000万ドルに達し、第4フェーズでは42.5億ドルに増加すると見込まれている。ディスコはまた、現地販売およびモザンビーク経由の輸出ルートに同社の製品を輸送するための、信頼性が高く中断のない効率的な専用鉄道路線を提供するため、全長1,000kmの鉄道路線の改修と建設に取り組む覚書を政府と締結した。かつてはリンポポ州北部にあったジンバブエ最大の総合製鉄所だったジンバブエ・スチール・カンパニー（Zisco）が財政難のため2008年に閉鎖されて以来、地元産業は輸入鋼材に大きく依存している。（15日付、ヘラルド紙）

・政府、金の納入に対する付加価値税を廃止

ヌーベ財務・経済開発・投資促進大臣は、金鉱山労働者がフィデリティ・ゴールド・リファイナー（FGR）への納入額に対して15%の付加価値税（VAT）を支払うという要件を廃止した。水曜日に官報に掲載された2024年の法定文書105号による。今年初めに鉱山事業者による金の引き渡しに15%のVATが適用され、小規模鉱山事業者にとって大きなキャッシュフローの課題となったことを受けたもの。ジンバブエ鉱山商工会議所のクウェス最高経営責任者（CEO）は、VATが多く、多くの鉱山労働者にとって複雑な業務を行っていることを指摘し、この変更を歓迎した。これにより、フィデリティ・ゴールド・リファイナーズへの金の供給が

増加すると予想される。(16日付、サンデーニュース紙)

- ・ワンゲ発電所が主力発電所に

ワンゲ火力発電所は、今年の第1四半期、1,696.4ギガワット時(GWh)を発電し、その期間に発電された総電力の75.4%を占めた。この発電量は、19.6%(440.5GWh)を占めたカリバ水力発電所や、残りの5.1%を供給した独立発電事業者(IPP)など、他の主要電源の発電量を上回った。昨年8月、ムナンガグワ大統領は15億ドルをかけて建設されたワンゲ発電所の7号機と8号機を稼働させ、それぞれ300MWの電力を国内電力網に追加した。なお、ジンバブエは国内発電を補うため、2024年の最初の3か月間に合計505.4GWhの電力を輸入した。これは前四半期から33.3%の増加である。輸入の大部分は南アフリカ(38%)、モザンビーク(34%)、ザンビア(28%)からのものである。電力使用量は、製造、運輸、建設部門が616.5GWh(30.4%)で最も多く、続いて鉱業と採石業が286GWh(14.1%)、家庭用が500.1GWh(23%)、その他の部門が474.5GWh(24.7%)だった。農業と林業部門の電力消費量は159.6GWh(7.9%)だった。(21日付、ヘラルド紙)

- ・ZiGが国際通貨コードZWGを取得

ジンバブエ中央銀行(RBZ)によると、新通貨ジンバブエ・ゴールド(ZiG)は世界銀行によって国際通貨として承認され、国際通貨コード「ZWG」として登録された。ZiGの小単位はセントと呼ばれる。現在、ZiGには1ZiG、2ZiG、ZiG5の硬貨、ZiG10、ZiG20の紙幣が流通しており、ZiG50、ZiG100、ZiG200の紙幣も順次導入される。(26日付、クロニクル紙)

- ・ジンバブエ中央銀行、経済安定維持のため金利を維持

ジンバブエ中央銀行(RBZ)の金融政策委員会(MPC)は、現在の経済安定を維持するために、政策金利を20%に据え置き、金融引き締め政策の姿勢を維持した。MPCは、安定した経済環境を促進する上での既存の措置の重要性を強調しつつ、ほとんどの政策規定を変更せずに、新たなリスクに積極的に取り組むという決意を強調した。政策金利を据え置くことで、MPCは経済成長の必要性和インフレ抑制の必要性とのバランスを取ることを目指している。MPCによると、これらの措置により、2024年5月のZiG建て月間インフレ率はマイナス2.4%となり、注目すべき成果となった。食品と非食品のインフレ率の低下により、2024年6月のインフレ率は0%前後になり、年末のインフレ率は5%を下回ると予想されている。この予測は、インフレ管理の重要な要素となっている為替レートの安定性に支えられている。(28日付、ヘラルド紙)

- ・IMF4条協議の第2回ミッション終了

国際通貨基金(IMF)は、18日に始まったIMF4条協議の第2回ミッションを27日に終えた。チームを率いるマリシェフスキ氏はミッションの最後に、今年4月以来インフレと為替

レートが安定が見られるジンバブエの金融引き締め政策姿勢を称賛し、農業の業績改善と製造業における進行中の資本プロジェクトに支えられて、2025年には力強い経済回復が見込まれると予測した。ジンバブエドルの公式為替レートは開始以来ほぼ安定しており、第1四半期のマクロ経済の不安定期に終止符を打ったと述べた。そのため、IMFはマクロ経済の安定が続くと仮定して、2024年の累積インフレ率を約7%と予測しており、これはジンバブエ中央銀行（RBZ）の5%という予測とほぼ一致している。（29日付、ヘラルド紙）

国際通貨基金（IMF）のマリシェフスキ氏率いるチームは、2024年の4条協定を締めくくるため、18日から27日にかけて2回目のミッションを実施した。マリシェフスキ氏はミッションの最後に、ジンバブエの経済見通しはガバナンスの「重大な弱点」と蔓延する汚職問題によって脅かされており、これが同国のマクロ経済の安定と業績に多大なリスクをもたらしていると述べた。（30日付、ニュースデイ紙）